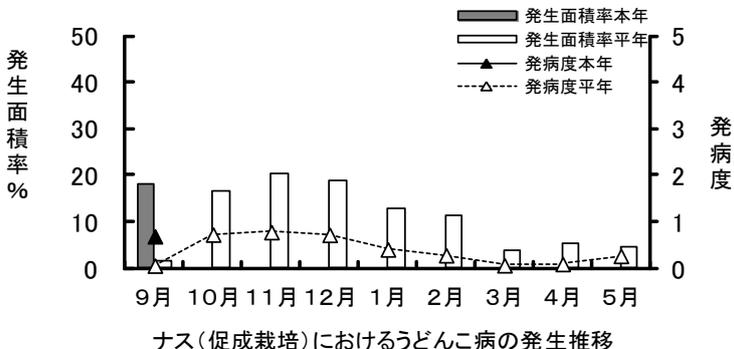


平成26年10月3日

高知県病害虫発生予察9月月報及び予報第7号(10月)
野菜類ダイジェスト版

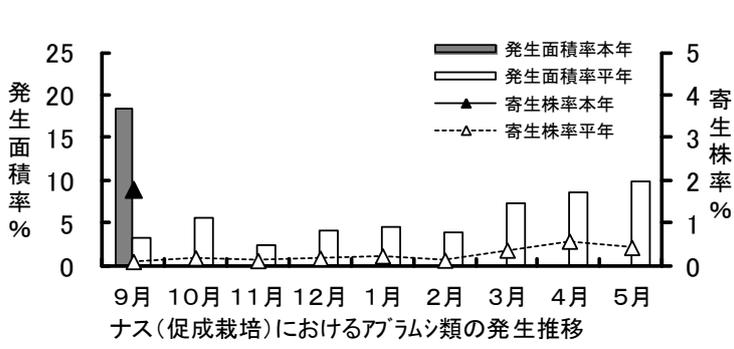
● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量:多



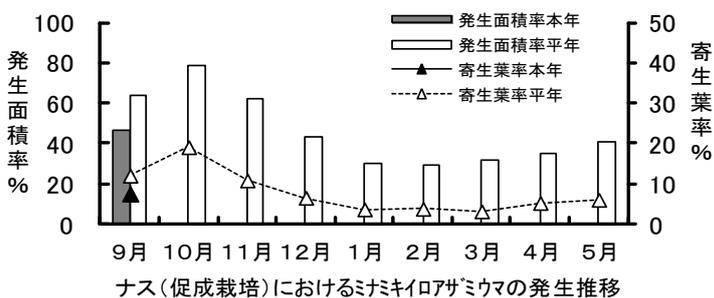
9月下旬の調査では、県東部、中央部で多発生でした。今後の天候によっては、病勢が伸展することが考えられます。温湿度管理、草勢管理を適正に行い、発病を認めた場合には初期から薬剤防除を行いましょ。

アブラムシ類 発生量:多



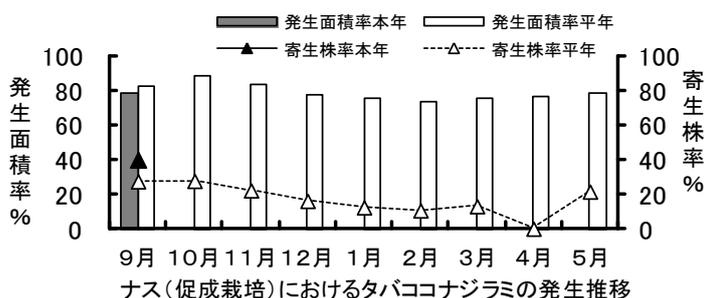
9月下旬の調査では県東部、中央部ともに多発生でした。天敵の定着のため、防除対策が遅れ気味になっているほ場が見られます。本虫は増殖が早いので発見したら、直ちに防除してください。

ミナキイロアザミウマ 発生量:やや少

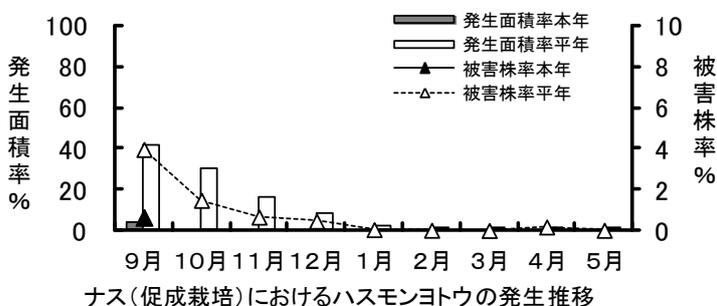


ミナキイロアザミウマ、タバコナジラミともに、県中央部で多発生、東部では平年並～やや少発生でした。特に天敵導ハウスでは、天敵の定着までにさらに両種の密度が上昇する場合がありますので、密度が高いほ場では、微生物製剤や選択性殺虫剤等での防除が必要になると思われま。

タバコナジラミ 発生量:並

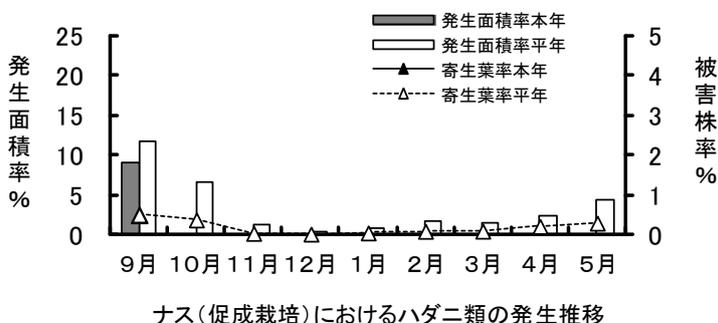


ハスモンヨトウ 発生量:少



巡回調査では、県東部で少発生、県中央部では平年並の発生でした。野外の密度は平年並～やや少なめの発生ですが、薬剤散布の減少により、突発的に発生することがあります。よく発生状況を観察して、発生初期に防除するようにしてください。

ハダニ類 発生量:やや少



9月下旬時の調査では、県東部でやや少、中央部で平年並となっています。発生をよく観察し初期防除に努めてください。天敵導入ハウスでは薬剤の選定に留意してください。

